

東京八王子プロバスクラブ
創立1995.10.18

ハロバスだより

第141号

編集・発行・情報委員会
発行日2007.8.9

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2007.7～2008.6 テーマ『ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を』

第141回例会

日時：平成19年7月12日（木）12:30～14:30

場所：八王子エルシィ

出席者：56名 3名が日本橋プロバスクラブ出席のため不参加。欠席5名、出席率91%（会員総数65名、内休会1名）

1. 浅川例会委員長の司会で定時に開会

2. 宮崎会長挨拶・新年度運営方針

12年目の新しい年度（19年7月～20年6月）



を迎え、会員の皆様の絶大なるご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い致します。私達のプロバスクラブはこの11年間、皆様方一人一人の地道な努力により立派なクラブに成長しております。会員相互の交流のみ

ならず、地域社会へのボランティア活動を前提に生涯学習サロンを中心に、多大な成果を上げつつその絆を深めて参りました。新年度におきましては、生涯学習サロンの内容の充実や運営方法の改革等により一層の努力を行いたいと考えております。

テーマは『ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を』と致します。前年度の基本方針を引き継ぎ、温故知新の精神をもって基本運営を行う所存であります。

（1）地域発展のボランティア活動

私たちが住んでいます八王子は昨年市制90周年を迎えました。緑と平野の自然に恵まれ、地域において歴史と文化、伝統を持つ古い町です。この地において、先人達が歩んだ道を正しく評価し、本年度も地域に根ざした活動に積極的に取り組んで行きたいと考えます。

（2）生涯学習サロンの充実化、多彩化

生涯学習サロンの理想形を追求し、試行錯誤を繰り返して行ってきました。同時に自分達が歩んできた道での自己研鑽や個性発見を発表する場所と致して参りました。本年度も今までのサロンに加えて、より幅の広い、魅力ある生涯学習サロンの充実化、多彩化を図る所存であります。

（3）他のプロバスクラブとの交流

全日本プロバス協議会の設立後、各地にプロバスクラブの数は増加しつつあります。今の時代にこそ、プロバスクラブの存在意義があると思います。各地域間において、その広報活動や情報活動を活発に意見交換を交わし、仲間意識をもって友好を保つことが必要です。特に近隣地区にその重点をおき、交流の機会を増して相互の有意義な活動が出来ることを期待致しております。

（4）会員相互による内部交流の活発化

年々同好会の活動が活発化しております。会員相互の意思疎通を図るため大変良いことと考えます。ゴルフ、囲碁、茶道、写真、歴史探求等は定期的に催されるようになりました。会員相互の緊密な交流こそプロバスクラブ運営の基礎となることと確信致しております。本年度もこれまで以上に幅広い活動が出来ますよう会員一人一人のご活躍を期待致します。

なお、具体的な実施事項につきましては各委員会別に発表いたします。

申し遅れましたが南ロータリークラブさまより5万円の助成金を頂戴いたしました。有難うございました。

3. 臨時総会

宮崎会長を議長に選出し、前年度決算報告・査報告、並びに新年度予算案を審議した。

(1) 前年度決算報告・監査報告

前年度決算報告は鶴田前幹事から、資料をもとに一般会計、特別会計（活動準備資金）並びに第11回生涯学習サロン会計の決算内容について報告があった。引き続き、山下、中野両会計監査からそれらの結果については相違がないという監査報告があり、いずれも了承された。

鶴田前幹事から、先月の総会後に藤野豊会員から（プロバス）年度末をもって退会の申し出があり受理したこと、今後は生涯学習サロンで皆様とお目にかかりたいとのメッセージが報告された。年度末の会員数は65名。

(2) 新年度予算案審議

山崎幹事から資料をもとに、2007～08年度収支3,515,674円とする予算案、当期積立を460,000円とする活動準備資金特別会計案が説明され承認された。加えて、八王子南ロータリークラブから助成金5万円を贈られたことが報告された。

休会届が7月に出たので、64名でスタートする。

4. 来賓ご紹介・ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ会長 清水宣



彦様、幹事 市川和博様、副幹事 山口進一様、前会長 広瀬武彦様が出席され、前会長広瀬様より一年間有難う

ございましたとのご挨拶があった。

清水新会長からプロバスクラブとは親戚のようなものなので、今後ファミリーとしてお迎えいただきたい。11回の学習サロンではプロバスクラブはすばらしい活動をされている。

さらに、ロータリークラブは企業を通じて社会貢献をするという立場で活動している。

一方プロバスクラブの皆さんは長い経験と豊かな知識を社会に還元し貢献するという役割の違いにふれながら、南ロータリークラブとして今期のご支援を約束したいとのご挨拶があった。

5. 幹事報告（山崎幹事）

①委員会のメンバーは各委員長要望を受け、配布された組織表のように決まった。地域奉仕委員会については地域奉仕・対外活動を重視するという会長方針にそって増員した。各委員会が円滑に活動出来るようにご協力をいただきたい。

②会員各自に名刺を配布。誤りあれば連絡を。

③対外活動報告：東京八王子南ロータリークラブ例会に会長、幹事出席。本日7月12日東京日本橋プロバスクラブ例会に立川、大高、下山会員が出席。日本橋プロバスクラブとは初交流。

④幹事と副幹事の業務：幹事は会計、副幹事は5月第3日曜日に開かれる「市民健康の日」対応窓口として活動。

抱負：本年のテーマ「ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を」に沿って努力してまいりたい。また、「豊かさを求めてプロバス・ライフを楽しもう」という昨年のテーマも引き継ぎながら、各委員長が活躍できるように補佐役に徹したい。

6. 各委員会報告（活動方針、他）

(1) 例会委員会 浅川委員長

全員揃うのは例会だけなので、大勢の人とつきあい、よく理解し合えるような例会にしていきたい。

(2) 地域奉仕委員会 阿部委員長

第12回生涯学習サロンは過去11回の経験から「温故知新」マイナーチェンジの方向で考えたい。本日アンケート用紙をお渡ししたので、8月例会で回収したい。全員参加のサロンにしたいので回収率100%となるようご協力をお願いする。一般参加の方の年齢、性別を考慮して、65～70歳の女性にも判りや

すく楽しいテーマで、興味・関心を呼ぶ話題を取り込んでいきたい。開講式、閉講式、野外サロン等、運営全般についてもご意見をお寄せいただきたい。

(3) 会員委員会 杉山委員長

プロバスクラブの財産は会員そのものなので、減らさないように、ふさわしい人材を広く発掘し会員に加えていきたい。

(4) 研修委員会 荒委員長

前情報委員長として、第11回プロバス生涯学習サロン冊子の発行と「プロバスだより」140号の発行をもって、前情報委員長としての任を終えたことを報告。

野外研修について8月の例会までにどこで何をといったアイディアをお寄せいただきたい、卓話について前年度同様の回数を確保したい。また、卓話に代わる原稿提出を依頼することも考えている。

(5) 情報委員会 八木委員長

会員に情報を「広く、正しく、速やかに」をテーマとし、「プロバスだより」の発行についてはチーム編成で当たりたい。情報・原稿をお寄せいただきたい。

7. 同好会報告

- ①茶道同好会；毎月第2火曜日10時から12時阿部治子会員宅で開催。8月は休会、9月は名月のお茶を楽しむ会を予定。
- ②歴史を肴に語ろう会；7月25日に「武蔵の国の中枢を訪ねる」(国府跡と国分寺跡)をテーマに見学と語ろう会を実施するので参加希望者は申込み下さい。

8. その他

会則改訂：鶴田前幹事から6月14日の総会で改訂され、今回新たに印刷・配布された会則をもとに、変更点の説明があった。

- ①第16条に慶弔を加え、第17条をその他としたこと、②第8条の月例会の終了時間を「午後2時30分までとする」の2点である。

9. 各委員会の打ち合わせ

委員会ごとにテーブルに分かれて、新年度の活動方針、スケジュールなどを打ち合わせた。

10. プロバスソング斉唱

11. 閉会挨拶 矢島副会長

最近、朝鮮総連の土地建物を巡る詐欺事件がありましたが、元長官と元社長の出会いが始まりといわれている。

退職後は趣味三昧と思っていたが、幸いなことに私はプロバスの素晴らしい皆様と出会いこのクラブに入った。以来プロバスの旗の下、共通の理想に支えられ、強い信頼関係の中にある。「ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を」の旗印の下に皆様と一緒に地元に貢献出来る喜びを改めて感じている。

本日は年度替わりの初めての例会ということもあって、事業計画やら予算やら盛りだくさんの提案があったが、すべてご承認いただき感謝を申し上げ、閉会の辞としたい。(例会記録 橋本綱二 写真撮影 市川昌平)

東京日本橋プロバスクラブ訪問記

全日本プロバスクラブ協議会関東ブロックの世話人をして立川さんは関東の各プロバスクラブを訪問して参りました。顔つなぎを増やしてやがて交流会開催まで持っていきたいとの願いからのこれら訪問も、最後に近づき、日本橋プロバスクラブを訪れる事が出来ました。各クラブとも事情があり、なかなか日程が揃いません。ようやく日本橋の方と整合が取れました。

7月12日我々の例会の日ですが、立川、大高、下山3人が先方の例会に参加しました。例会後30分ほど理事の方々と情報交換をさせて戴きました。例会は12時から三越本店特別食堂不二の間で食事、外部講師による卓話が13時まで。その後理事会を14時までに会場が終わるという厳しい時間の中から、懇談の時間を割いて下さいました。出席者34名(来客含む)4人がけのレストラン式のテーブルです。

日本橋クラブは65歳以上、ロータリー出身者のみ、というクラブで、八王子とは逆の環境にあります。会員は日本橋付近で仕事を

してロータリーに所属していたが自宅は横浜千葉
埼玉と散らばっており、その方たちが旧交を温め
る目的が主であって、月一度集まって食事をし、
卓話を聞くのが楽しみというクラブです。八王子
が勤務は散らばっていたが、リタイア後自宅のある
地域に参加貢献しようとするのと全く逆です。

クラブは食事代3,000円をその都度払い、年会
費は別途4,000円だそうです。社会奉仕は年に1
度の日本橋の清掃に参加するぐらいとか。全日本
協議会には加盟しています。

卓話は外部講師で日本総研理事の方がわが国の
社会保障改革のあり方と題して豊富な資料、数字
を以って話されました。おもしろい話題の時機を得
たものですし、中身も高度な研究に支えられたもの
と思いました。

内田会長、関総務理事、井戸相談役らとの会談
では立川さんから全日本の状況説明と関東での交
流会についての意見聴取を行いました、もちろん
即答はありません。八王子のクラブ紹介は時間も
無く、10周年記念誌や、サロン冊子をお渡しし
て簡単に紹介しました。

プロバスクラブにはいろいろなニーズがあって、
夫々の運営がなされていて、お互いにあれこれ押
しつけることなく、楽しむ交流がもてることが必
要と感じつつ帰ったところです。

(記 下山 邦夫)

投 稿 仲間とともに

宮城 安子

私たち人類が、かつて経験したことのない
高齢化時代がやってきました。生涯スポーツ
が叫ばれて久しい昨今ですが、言葉が一人歩
きして中身が伴わないのが現状です。



云うこと
はやすく、
実践するこ
とはなか
なかな
かむずかし
いことです。

健康とは、けっして病気をしていないと云うだけで
はありません。現代社会には、病気ではないが健康で
もない、と言う半健康人間がとても多いのが現状のよ
うです。年を重ねるごとに、今まで気づかなかった体
の変調そして不安・・・、でも大丈夫みんな同じ道を
たどるのです。

健康がすべてではないけれど、健康でなければ何も
できない。そんな事を考えながら元気なうちに(健康
な時に)健康づくりをしよう・・・と八王子市内に多く
の仲間が集まりました。日々各クラブでトリム体操に
励み年に一度一堂に集まって、健康であることを喜び
皆で分か合いました。『健康に感謝する日』これを「ト
リムのつどい」としたのです。

この「トリムのつどい」も今年で20回をむかえ、
トリム続けて健やか人生ここにあり、トリムの仲間の
顔みれば しだいに和む心と体・・・とまでになったので
す。一人ではなかなか出来なかったことでも仲間がい
ることがとても励みになることも学びました。

健康は与えられるものではなく、自分の体の管理は
ご自分で！

(写真は「日本トリム体操IN北京」参加の筆者)

「日本トリム体操IN北京」

今年4月『日中友好文化交流使節団』として
中国北京の人々とトリム体操の交流をし、すば
らしい成果をあげました。(5/29読売新聞)

【注】トリムってなあに！？：ノルウェーの造船語で「船
のバランスをとる」ことを言い、それを 人間の身体に
なぞらえて、人生航路を元気に過ごすために、心身と
もに バランスのとれた健康づくりを 目指す運動の 総
称です。

編集後記

新しい情報委員会が発足したことを期に紙面を一
新し、2段組にいたしました。皆様よりの寄稿、会
員活動のニュースなどお待ちしております。

情報委員一同

東京八王子プロバスクラブ
創立1995.10.18

ハロバスだより

第142号

編集・発行・情報委員会
発行日2007.9.13

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2007.7~2008.6 テーマ『ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を』

第142回例会

日 時：平成19年8月9日（木）12:30~14:30

場 所：八王子エルシイ

出席者：55名 欠席10名 出席率83%（会員総数66名 内休会1名）

1.浅川例会委員長の司会で定時に開会

2.宮崎会長挨拶

皆さん今日は。昨日より夏の甲子園も始まり、本格的な夏真只中ですが、お元気に御出席頂きまして誠に有難う御座います。また、南ロータリークラブより前会長廣瀬様、加賀谷様、世田谷山手ロータリークラブ片桐様のご出席を頂きまして誠に有難う御座います。

さて、7月例会後、各委員会があり、多摩プロバスクラブの納涼会にお招きを受けたり、同好会の歴史の会もあり、地域によっては八王子祭りがあり、忙しい日々を送り、瞬く間に一ヶ月過ぎてしまいました。

今月のプロバスだよりから新しいテーマに変えさせて頂きました。「ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を」であります。どなたも各々がふるさとをお持ちであり、懐かしく感じられると思います。

先日 NHKの朝の「すてき旅」と言う番組で地元八王子の紹介がありました。ご覧になった方もあったと思います。八王子の二人の紹介であります。一人は浅川の河原で、草笛の名人庄野さん。もう一人は浅川町に住んでおられる昆虫採集の虜になったそのみちの達人、早稲田大学の生物学の先生池田さんという方です。

庄野さんは朝の散歩でよくお見受け致します。又、池田さんは八王子の里山を愛し、近くの公園や野山で昆虫を採って居るそうです。時には八王子でミヤマカラスアゲハ、ミヤマクワガタが採れ

るとのことです。又、池田さんはご自分の名前を付して命名（エルルクス イケダイ）した昆虫など5000種の採集コレクションをお持ちだそうです。八王子は緑豊かだし、自然を愛する方達が大量に居られるのだな、機会があれば生涯学習サロンにお呼びしてお話を伺いたいなあと感じました。

8月はこれからも、お盆や盆踊りや祭など色々行事がございます。暑さも一段と厳しくなります。どうぞお体に充分にご注意して下さい。

3.来賓ご紹介・ご挨拶

南ロータリークラブ前会長廣瀬様、加賀谷様、お客様として片桐様がお見えです。片桐さんにつきましては後程杉山さんよりご紹介があります。

廣瀬様ご挨拶：今日は。会長が終わりましたが、なかなか無罪放免とはなりません。昨日は納涼大会がありましたが、これは納涼と言うよりはリハビリという感じでしたが、楽しんできました。八王子祭りも終わりましたが、今後共どうぞ宜しくお願い致します。

4.新会員紹介 高瀬 謙輔氏

紹介者 杉山会員委員長：高瀬謙輔さんをご紹介します。昭和19年兵庫県生まれ 62歳 帝国石油にお勤めになり、理事、常務、専務取締役等要職を歴任されて現在は、顧問をされています。奉仕活動でも新潟地震の折などいろいろ貢献されました。ご趣味はゴルフです。末長くよろしくお願い致します。

新会員 高瀬氏：高瀬と申します。中学、高校の



6年間を野球部に所属していました。野球部は当時も人気がありました。でも、辛いこと、やめたい事もありまし

た。これは父親が、高野連の役員をする等この道で活躍していましたので、とてもやり難い事が多かったのです。それでも野球をしていてとても良かったと思っています。大学は義兄の勧めもあって、東京で青山学院に入りました。大学の阪神会・英語クラブ等で活躍し、就職は帝国石油に入社しました。2年間ほど海外に従事したのも懐かしく思い出され、約40年の会社生活に感謝しています。これからはプロバスを通じて地域に貢献できればと思います。どうぞよろしくお願い致します。

バッジ贈呈 宮崎会長

5. 幹事報告(山崎幹事)

(1) 会員動向

新入会員1名 会員数66名 休会 1名
実働65名

高瀬 謙輔 会員№105 会員委員会所属
休会会員1名 関戸一郎会員(体調不良のため)1年間

(2) 会長委嘱人事の件で、昨年度同様に下山会員には全日本プロバス協議会副会長及び地区担当役員の補佐をして頂くことを、理事会にて議決

(3) 対外活動の報告

① 先月の例会日で報告した東京日本橋プロバスクラブのレポートは、今年度はじめての“プロバスだより”141号に掲載

② 東京多摩プロバスクラブ平田会長よりの招請により、納涼会に、宮崎会長、矢島副会長、阿部地域奉仕委員長、濱野前会長、立川会員、下山会員の6名出席。近隣のプロバスクラブの交流を深めてきました。

③ 全日本プロバス協議会世話人会10月21日京都にて開催。出席予定者 立川会員 下山会員 他1名の予定

④ 南RCより9月7日、PM6:00から高尾山薬王院にて開催の例会で、俳句に関する卓話の依頼あり。会長が知人の清水氏に依頼し卓話の了解を得ています。参加ご希望の方は、幹事まで。

(4) 各委員会の懇親会

各委員会ともコミュニケーションがよく、今年度の出

発にあたり心強く感じると共に、昨年度より引き継いだ“プロバスライフを楽しむ”一環になったと思います。

(5) 会員募集のパンフレットについて

各5部配布されております。会員募集に全員でご協力願います。詳しくは会員委員長が報告いたします。

6. 各委員会報告

(1) 例会委員会 浅川委員長

夏休み、お盆の為か 欠席者が10人と多かったのですが又戻ることと思います。

今月は打ち合わせもあると思います、委員会毎の座席ですが、来月辺りからは座席の組み合わせを任意設定したいと思いますので宜しくお願い致します。

(2) 地域奉仕委員会 阿部委員長

7月の例会でお渡しした第12回生涯学習サロンのアンケートを提出してください。未だの方は15日頃までに私宛送って下さい。生涯学習サロンの参加資料にしますので、ご協力下さい。

(3) 会員委員会 杉山委員長

今日プロバスクラブのパンフレットをお配り致しました。名刺だけでは解りにくいという声がありましたので、パンフレットを作りましたので添えてご活用下さい。

先程会長から埼玉小川ロータリークラブの片桐さんのお話がありましたが当時(八王子プロバスクラブ創立直前)は東京のロータリークラブでご活躍されていて、東京にプロバスクラブがないのはおかしいと、大野聖二さんのリードで私もども八王子プロバスクラブを立ち上げて今日に至りました。当クラブとは非常にご縁のある方です。

片桐さんのご挨拶: 片桐です。只今は杉山さん



に有難いご紹介を頂き嬉しく思っております。私も80歳になりますが、生活のリズムを大事に「高齢者に生きがい。環境保全に関心

を」持ち続けたいと思っています。フレンドシ

ップとフェロシップを大切に。皆さんと好きな歌をご一緒に歌いたと思います。どうも有難う御座いました。

(4) 研修委員会 荒委員長

野外研修を11月8日に予定しています。内容は検討中ですが来月には発表出来るように企画しています。当日を空けておいて下さい。

本日の卓話は佐々木研吾会員にお願いしました。卓話をして下さる方の推薦をお願い致します。

(5) 情報委員会 八木委員長

作品第一号をお配り致しました。ご覧の様に今回紙面を一新して二段組みと致しました。会の活動のほかに同好会の活動、個人での活動、趣味、また会員の活動ニュースなど情報委員にご一報下されれば幸いです。

「広く、正しく、速やかに」が今回の情報委員会のテーマです。宜しくお願い致します。

7. 同好会報告

① 囲碁同好会 矢崎幹事

新しい方もおいでですので囲碁大会のご案内を全員の方にお配り致しました。奮ってご参加下さい。

② ゴルフ同好会 米林幹事

永井さんのご尽力で10月25日に都留カントリークラブでゴルフコンペを開催します。費用 14,000～15,000 円(キャディー・食事・カート等すべて含む) 70歳以上の方は利用税が無料になります。予定人数 3組 12名/組 9月の例会まで。

③ 歴史の会 澤渡幹事

第7回歴史を肴に語ろう会を7月25日行いました。

「武蔵国の中枢を訪ねる」(国府跡と国分寺跡)というテーマです。参加者23名。概要は会報にてご報告いたします。

次回は9月26日(AM10:00)が増田会員の講演を伺います。是非ご参加下さい。増田会員は「八王子の狛犬」ほか、著書を多く出されて居られます。

8 卓話「わがふるさと秋田の風土を憶う」

佐々木 研吾

秋田と言うところは、ご存知の通り、西は日本海に面していて、三方を山地に囲まれた東西に短く南北は長い長方形をしています。わりに纏まった地域と言えるでしょう。

川が3本、上から米代川、雄物川、子吉川が日本海に注ぎ流域盆地を形づくっています。

レジュメをお配りいたしました但参考になさってください。省略したり脱線したり、個人的意見を申し上げたりしてお聞き苦しい事もあるかと思いますが、お許し下さい。

さて、ホワイト・ボードに図形をお示しますが北の青森県境には白神山地、東に奥羽山脈、南は丁岳山地が形作っています。特徴的なのは、米代川流域の男鹿半島で、米代川、雄物川の流出土砂による陸繋島でこのような地形は他にも幾つかあり、例えば江ノ島、函館、潮の岬、志賀島などがあげられます。八郎潟は、琵琶湖に次ぐわが国2番目の大きな湖ですが昭和31年に国営事業による大規模干拓が行われ、約8年の歳月を要し大規模農地を造成しましたが、水田利用再編を求める農業状況から過剰農地を発生し米あまり現象から青田刈りをする結果となったのは記憶に新しいところです。干拓は埋め立てとは異なり堤防、水門を築いて海水を排するものをさします。

秋田という名称が最初に記録されているのは日本書紀、阿部比羅夫の北征「鰲田浦」の記述が見られます。中世は、「秋田城」を経て関が原の合戦以後佐竹氏が1602年常陸から移封され、以後幕末まで一貫してその支配下にありました。これまではレジュメの半分位の話を進めてまいりましたが、時間の関係で余談を交えて秋田県人の特別の思いやり、県民性を幾つか取り上げてお話します。

県民性 朴訥鈍重の一方、進取の気性にも富み、白瀬中尉、解体新書の挿絵を描いた小田野直武などが居り著名人としては明石 康さん等がおります。

また、変わったところでは自殺率が高かったり、アルコール消費量が日本で、1、2位を争っ

ています。最後に我がふるさと土崎について申し上げます。雄物川の川口に位置し古くから秋田湊とも呼ばれ、北前船の寄港地として、また船運の中心地と繁栄しましたが、明治後半奥羽線の開通によって大きな影響を受け、入港船も減り衰退しました。秋田市に合体秋田港となりました。

9. プロバスソング斉唱

10. 閉会挨拶 矢島副会長

ここ連日30度を超す暑さ。日本だけでなく、イギリスや東ヨーロッパでも異常が起っています。

先日の読売新聞にショッキングなニュースが載っていました。“エベレストが溶ける”という見出しで11年前の気象衛星の映像と、今年の映像を対比すると、氷河が溶けているのがハッキリ写っているのです。その事がエベレストが溶けるという表現になっているのです。是非、世界的地球環境を守って行きたいと思います。

暦の上では秋ですが、毎日夏本番の暑さです。皆さんどうぞ身体を大切に 来月も元気にお会い致しましょう。本日はご苦労様でした。

(以上 例会記録 阿部幸子 写真 市川昌平)

第7回「歴史を肴に語ろう会」報告

澤渡 進

日 時：7月25日（水）8：30～17：00

テーマ：「武蔵国の中枢を訪ねる」（国府跡と国分寺跡の見学）

見学地： 府中市郷土の森博物館（歴史博物館、復元建物群）、大国魂神社（国庁跡）、高安寺、東山道跡、国分寺（尼寺、文化財資料展示室）、道の駅八王子滝山



(写真：府中市郷土の森資料館)

「語ろう会」：17：30～20：00 ‘日本海 庄や’

参加者： 23名（懇親会 21名）

梅雨明けを思わせる快晴のこの日、狭い車中から皆さんの口は朝からかなり快調である。

テーマの武蔵国府跡がある府中と国分寺は、わが街から30分の所にありながら意外に知られていない穴場である。幸い二ヶ所ともベテランの解説員を派遣してくれたので、豊富な資料と相俟って、参加者には奈良時代初期の武蔵国を十分マスターされたに違いない。

紙面の制約からこれら見学場所の成り立ちや歴史的意義等は機会を待って報告したいが、今回の見学会を通じて、八王子市民として気になったことを一点報告させて頂きたい。

府中市郷土の森博物館を見学した折のことだが、わが街のそれと比べて、歴史・文化に対する市関係当局の取り組み姿勢にこれほどの差があるのかと、その格差を目の当たりにしてショックを感じると共に“八王子は今のままでよいのか”という会員諸兄からの前向きな声が多く聞かれたことは、ある意味、当見学会の最大の意義であったかもしれない。

余談ながら、時間が少々あったので、「滝山・道の駅」を見学。地の野菜や特産品等が販売されており、若い夫婦連れを含めかなりの賑わいであったことはご同慶の至り。

最後は「語ろう会」の報告。今回も盛り上がりました。暑かったためビールが飛ぶように売れ、焼酎の空瓶も机上にかなりの数散乱していました。飲まなかった方、今回も本当にごめんなさい。プロバス会員の品格はほどほどに保ちつつ、会員間の親睦に寄与したことを併せ報告させていただきます。今日も一日、【よい勉強】と【よい語ろう会】で過ごすことが出来ました。 おわり

編集後記

ようやく秋の気配が感じられるこの頃になりました。今年は異常な暑さが続きましたが、一人一人が自分の問題として温暖化に取り組む事が地球を救うことに通ずるのでしょうか。

メールなどの電子媒体での投稿は会報委員にとっては有難いことです。新しく発足する同好会「プロバス楽々IT塾」の活躍に期待いたします。

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2007.7~2008.6 テーマ『ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を』

第143回 例会

日時 : 平成19年9月13日(木) 12:30~14:30

場所 : 八王子エルシィ

出席者: 58名 欠席7名 出席率89%(会員総数66名 内休会1名)

1. 浅川例会委員長の司会で定時に開会

2. 宮崎会長挨拶

皆様こんにちは、本日は多くの方に出席頂きまして誠にありがとうございます。又、八王子南ロータリークラブより清水会長はじめ3名のご出席を頂きまして、誠にありがとうございます。

今年の夏は大変に暑かったですね。最近は温度が35度を超えることが当たり前になってしまったような気がします。以前は八王子で35度あったという大変なニュースになりましたが、今では普通の感じがします。ヒートアイランド現象が一段と進んでいるのでしょうか。環境問題は深刻な状態にあり、各国が真剣に取り組む必要があると思います。

この夏に身体の調子を崩された方もいらっしゃると思いますが、早く治して頂きたいと思います。

先日新聞の投書欄にこんな記事が載っておりました。「夏休みの終わり頃になると、100円ショップで一番売れるのは雑巾だそうです。どの店も売り切れになるそうです。それは、新学期に入り、新しい雑巾を生徒達が掃除のため買うからです。投書の方は古いタオルで雑巾を作り、孫に持たせたそうです。生徒達が持ち寄った雑巾は新しいタオルの物(100円ショップ)と古いタオルや布で作られた物と区別され100円ショップの新しい雑巾は皆に使われるけれど、古い布やタオルで作られた雑巾は皆から、「汚い」とか「きもい」とかで使われないそうです。その場にいた先生は何も言わなかったそうです。雑巾は1度使われたら新しい布も古い

布も同じ雑巾です。区別などありません。今の子供達の考え方は間違っていると思います

このような先生が教育に関わっているのでは？」という内容でした。

学校の教育問題、親の理不尽な要求等いろいろな話題になっております。日常の問題として私達は考えなければならないと思います。

3. 来賓ご紹介・ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ会長 清水宣彦様、前会長 廣瀬武彦様 幹事 市川和博様

清水会長ご挨拶: 日頃八王子南ロータリークラブにご支援を頂きまして厚くお礼申し上げます。9月7日に高尾山にて精進料理を頂き俳句を作る会を催したのですが、残念ながら台風で中止となりました。プロバスクラブから講師をお願いして、準備を進めてもらったのです。今後、このような行事を通して相互の講師派遣とか、交流を深めたいと存じます。

昨日、ビッグニュースがありました。どなたが後継になるのか解りませんが、いずれにしても株が値下がりしていません。日本の経済は既にこの位のことは盛込み済みでビクともしません。しかし、地方との格差の問題は早急に解決してもらいたいと思います。

ロータリークラブは現場の指揮官でありゲリラの隊長の集まりです。プロバスクラブのたおやかな面を勉強させていただきたいと思います。

4. 幹事報告(山崎幹事)

(1) 会員動向

会員数66名 休会1名 実働65名

(2) 对外活動の報告

① 9月7日に予定されました、八王子南RCとの特別例会は台風で中止となりました。

② 10月21日に開催予定の全日本プロバス世話

人会に立川会員、下山会員2名出席予定

(3) 幹事業務の一部変更

会計業務を土井副幹事をお願いする

(4) 新しいサークル「プロバス楽々IT塾」(アンケート用紙配布)が誕生しました。

現在の5サークルに加え6サークルになります。

(5) 野外研修の件、地域奉仕のアンケートは各委員会報告にて報告があります。

5. 各委員会報告

(1) 例会委員会 浅川委員長

本日の欠席者は7名です。出席率は89%、例会の服装はクールビズでしたが、10月からは平常に戻ります。

(2) 地域奉仕委員会 阿部委員長

アンケート回収に際しましては、多くの方のご協力を得て誠にありがとうございました。

回収は70%に達し、サロンのテーマ29件、野外サロン22件、運営全体に関する意見14件でありました。サロンのプログラムについて、特別講座2件、一般講座16件、計18講座の原案を作り、理事会にて、ほぼ了承されておりますが、再度検討して10月の例会に第12回生涯学習サロンのプログラムを提出する予定です。尚アンケート結果をまとめ一覧表にて提出させていただきます。

皆様のご協力ありがとうございます。

(3) 研修委員会 荒委員長

①卓話の紹介：昨年プロバス日より、生涯学習サロンの編集に際して著作権について問題意識があり、今回武田会員にお願いしました

②野外研修は11月8日を予定しており、テーマは「江戸文化を楽しむ」です。18世紀前半100万人都市になっていたという江戸の全貌をイメージし、庶民の暮らしと楽しみを探るというサブテーマで、江戸東京博物館、相撲博物館、落語の末広亭を楽しみます。参加費は寄席の入場料を含み5,000円になります。皆様のご参加をお願いします。

6. 同好会報告

(1) 囲碁同好会：会費(15,000円)を10月の例会にて集金させていただきます。

(2) プロバス楽々IT塾：アンケートを配布しました。これを機に10月から第1、3月曜日の午前、午後と月2回開きます。場所は東浅川の保健福祉センターです。メール作成、文書作成等を予定しております。

(3) 歴史の会：「学ぼう!!八王子の文化財」をテーマとして9月26日、京王プラザ八王子「南園」にて、内容は八王子の庚申塔について講師は増田会員です。会費2000円+飲物代

(4) 写真同好会 会員には連絡してありますが、撮影会を9月27日に予定しております。同好会以外の方でもご参加下さい

(5) お茶の会：10月の第2火曜です。会員以外の方もOKです。

7. 卓話「著作権の話」武田会員(次ページに掲載)

8. プロバスソング斉唱

9. 閉会挨拶 矢島副会長

先程紹介がありましたように、新しい同好会が誕生いたしました。この事は今年度の運営方針の大きな柱である「会員相互の交流を図りながら組織の活性化」という方針にのっとったものであります。

IT担当の武田会員から報告のように、当クラブは既にホームページを立ち上げており、相互アドレスを利用してメールによる情報収集や、交換、又はデータの送受信等、活発に行われ、日頃の委員会活動や情報活動に大いに寄与しているところです。

IT同好会の発足に伴い、今後情報ネットワークの拡大を図り、大きな成果を得られることと期待いたします。新年度スタートから3ヶ月、委員会、同好会の活動は秋になって盛沢山ですこれからも大いに期待しているところです。

今月の例会も皆様のご協力を得て、スムーズに進行いたしました。御礼申し上げます。

受賞おめでとうございます。

立川富美代会員：『青少年育成功労賞』

八王子市の推薦を受けて石原都知事より受賞されました。

杉山友一会員：『防犯荣誉金賞』(全国表彰)

警察庁長官より受賞されました。



(1) 著作権って何？

知的財産権という言葉に耳にしますが、それは「著作権」、特許権、実用新案権等の「産業財産権」「その他」で構成されています。

(2) 著作物にはどんな種類があるの？

子供の絵も立派な著作物であり、定義として著作権法第2条1項に一、著作物、思想又は感情を創作的に表現したものであって、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するものをいう。

言語、音楽、舞踏・無言劇の著作物、美術、建築、地形・地図の著作物、映画、写真、プログラムの著作物があり、このほかに二次元的著作物、編集著作物、データベースの著作物が追加されています。

・著作物にはどんな権利があるの？

著作物の権利は人格権と財産権の二つに分かれ、人格権は著作者の死亡によって消滅するが、一定の範囲で守られ財産権は譲渡したり、相続したりできます。

・著作権の保護期間はどれだけ？

我が国では、著作者が著作物を創作した時点から、著作者の死後50年までですが、映画の著作物は70年となっています。外国では国により30年～80年です。

・著作隣接権とは？

著作物の伝達に重要な役割を果たしている実演家、レコード製作者、放送事業者に認められた権利です。

・著作権の正しい使い方は？

著作権利用の手順「日本で保護されているものか」「保護期間内のものか」「自由に使える場合かどうか」「著作権者を調べ、利用の許諾を得る」をチェックして利用することです。

・著作物が自由に使える場合は？

著作権を一定の範囲に制限して著作物を自由に利用することができ、我々は特に「私的使用のための複製」「引用」などに利用することができます。

・著作物を無断で使うと？

著作権侵害は犯罪とされていますから、侵害者を処罰することができます。但し親告罪で、著作権、出版権、著作隣接権の侵害については、10年以下の懲役又は100万円以下の罰金となります。

(3) 引用とは

・著作権法第32条1項に規定されています。正しく使えば問題ないのです。

・引用の要件

公表された著作物であること、著作物と利用者の作品が明確に別物であること、利用者の作品が上で、被利用者の著作物が従であること

主従関係：	他人の著作物を利用する側の目的である「報道、批評、研究その他」という引用行為を「主」とした上で、その目的の範囲内で利用しなければならないので「従」という。
引用の約束事：	引用するということは、参考にした著作物のどの部分に依拠したかを示すことが重要である。原則として「注を付す」。そのまま引用する場合は、自分の考えと区別するためにかぎ括弧でくくるなどすることが求められる。
引用する部分：	必要最小限にすることが望ましい。原著作物の表現をそのまま使いたい場合や、ニュアンスを大事にしたい場合にその部分のみを引用すること

出所・出典の明示：	出所の明示は著作権法48条1項で規定され、最低限の記載事項として執筆者、書名、版数、刊行年、出版社名、頁です。
無断孫引きの禁止：	原典あるいは自分で読んだもののみ注に掲げること。孫引きした場合はその旨を明示すること。

・引用の事例

書物から引用の場合：	「・・・(引用部分)・・・」注○（執筆者、『書名』、版数、刊行年、出版社、○○頁～○○頁）
論文から引用の場合：	「・・・(引用書物)・・・」注○（執筆者、『論文名』、巻号数、発表年、掲載誌名、○○頁～○○頁）
インターネット情報から引用の場合：	「・・・(引用部分)・・・」注○（URL、アクセス年月日）
すでに注であげた文献を繰り返し示す場合：	「・・・(引用部分)・・・」注○（執筆者、前掲書、○○頁～○○頁）

（４）転載とは

著作権法32条2項に「国若しくは地方公共団体の機関、独立行政法人又は地方独立行政法人が一般に周知させることを目的として作成し、その著作の名義の下に公表する広報資料、調査統計資料、報告書その他これらに類する著作物は、説明の材料として新聞紙、雑誌その他の刊行物に転載することができる・・・」としている。要件としては、官公庁が発行した広報用資料と時事問題に関する論説に限定、解説のための説明材料が前提。転載は新聞、雑誌、その他の定期・不定期刊行物に限る。

インターネットへの転載は除外なので要注意です。

・転載の事例

「・・・(転載部分)・・・」注○（日付、論説○○）

例題

Q-1 次の作品は著作物性がありますか ①客観的データをまとめた市場調査データ ②アマチュアの撮影した写真 ③新聞の見出し記事 ④小説のタイトル ⑤キャッチフレーズ ⑥法律 ⑦地図	Q-2 次は許諾なく転載できますか？ ①新聞の社説 ②犯罪白書 ③首相所信表明演説 ④配信記事
--	--

（ Q ）の解答

Q-1 ①× ②○ ③× ④× ⑤× ⑥○ ⑦○

Q-2 ①○ ②○ ③○ ④×

（以上 例会・卓話記録 山元哲夫 写真 市川昌平）

編集後記

今月は武田会員の卓話「著作権のはなし」の要約を掲載いたしました。配布資料とともにご活用下さい。皆様の寄稿、会員活動のニュース等お待ちしております。

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2007.7～2008.6 テーマ『ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を』

第144回例会

日時：平成19年10月11日（木）12：30～14：30

場所：八王子エルシィ

出席者：54名（会員総数66名 内休会2名）

1. 浅川例会委員長の司会で定時に開会

2. 宮崎会長挨拶

本日も八王子南ロータリークラブ廣瀬前会長、加賀谷元会長に御出席を賜り誠に有難うございます。昔より天高く馬肥ゆる秋と言われますが、今年は夏が不順であったようにカラリとした秋が無く、曇り空が続く毎日です。気象用語の概ね晴の状態です。43年前の東京オリンピックのあの秋の青さは何処へ行ってしまったのでしょうか。環境的にも心配です。

本日は二点のご報告を申し上げます。

最初の一点は会員の受賞のご報告です。先日10月4日、立川会員が青少年育成功労賞を東京都石原知事より頂戴しました。また同じく10月4日、杉山会員が防犯栄誉金賞を警察庁長官より受賞して居ります。両方とも誠に目出度いことであり、会員全員でお祝い致したいと存じます。

もう一点は同好会の設立であります。9月24日武田会員、矢島会員、矢崎会員等のお骨折りによりまして「楽々IT塾」が開設しました。近い将来ITを使って会員同士によるメール交換、連絡の省力化等を目的と致しております。パソコンの指導を武田会員、矢崎会員などの方々が優しく・厳しく・丁寧に教えてくれますので、この状況だと目標より早く初期の目的達成が出来るのではないかと思います。東浅川保健福祉センターで1ヶ月2回の開催です。是非参加下さいませよう宜しくお願い致します。

3. 来賓ご紹介・ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ前会長 廣瀬武彦様、元会長 加賀谷恵様

廣瀬前会長：久しぶりの挨拶です。私は八王子工業高校の同窓会長をしておりますが、八王子工業高校と第二商業高校が統合され新しい八王子桑志高校が誕生いたしました。工業の人は作る事はわかるけれ

ど貸借対照表等はわかりません。儲かっているかどうかはわかりません。又商業の人は作る事がわからない。この両校が一緒になることは素晴らしい事です。これからが期待されます。知らない方もいらっしやと思いますのでご報告いたします。

4. 幹事報告（山崎幹事）

（1）会員動向

会員数66名 休会が1人増え2名となりました。地域奉仕委員会所属の石田雅己会員です。体調不良で来年3月迄休会。実働64名です。

（2）会員の受賞の件

①立川富美代会員10月4日八王子市の推薦を受けて石原都知事より青少年育成功労賞を受賞。

②杉山友一会員10月4日明治記念館において警察庁長官より防犯栄誉金賞を受賞。

当クラブを代表して宮崎会長より、ささやかなお祝いの品物（目録）を贈ります。

（3）対外活動の報告他

①10月21日に京都で開催される全日本プロバス世話人会に立川、下山会員が出席予定。

②全日本プロバス協議会の関東ブロック第1回交流会が11月29日11：00から14：00まで御茶ノ水TKTビジネスセンターで開催されます。関東ブロックは14クラブあり立川会員が全日本プロバスの副会長、関東ブロック長です。

③いちょう祭りの手伝いの件。今年も11月17（土）18日（日）にいちょう祭りが行われます。例年の如く2会場に2名ずつ午前午後の2日間で延16名にお手伝いをお願いします。地域奉仕委員長が纏めますのでご協力をお願いします。また、野外研修の車中で通行手形を販売する事になると思います。

④新サークルの楽々IT塾は9月24日に東浅川保健福祉センターで発足しました。さすが八王子プロバスクラブで会員の半数以上の申し込みがありました。向上心は旺盛で、当日は会長、副会長を初め20名ほど参加、塾長武田会員ほか指導する方も、習う方も会員で懇切丁寧な指導で和やかな雰囲気です。来年からの情報委員長はプロバスだよりの編集が相

当楽になると期待されます。又その他のサークルも活発に活動されております。

⑤来月は野外研修です。参加人員も50名との報告を受けております。大いに学び楽しんで参りましょう。会長より受賞のお二人にお祝い贈呈



5. 各委員会報告

(1) 例会委員会 浅川委員長

本日は54名出席

(2) 地域奉仕委員会 阿部委員長

①第12回生涯学習サロンの講師を本日正式に依頼いたします。②野外サロンの候補地は本日例会後、委員会で決めます。③いちよう祭りの協力をお願いします。

(3) 会員委員会 杉山委員長

例会後委員会で新入会員の審査をします。

(4) 研修委員会 荒委員長

本日の卓話は「自動車産業のあらまし」という題で渋谷会員にお願い致します。野外研修50名予定です。野外研修11月8日7:45集合です。また最寄りの朝日新聞販売店で特別展(夏目漱石展)の招待券が手に入りますのでご利用下さい。

(5) 情報委員会 八木委員長

前月の武田会員の卓話を掲載致しました。ご利用下さい。

6. 同好会報告その他

(1) ゴルフ同好会 米林委員

都留カントリー25日、8:30集合。費用は2万円程です。

(2) 茶会 中野委員

第2火曜10:00より、11月より炉を使用します。

(3) 囲碁 下山委員

会費15000円1泊10月19、20日 陣屋温泉、9名参加

(4) 写真同好会 下山委員



9月29日の巾着田撮影会を行いました。12月の例会に展示いたします。1人A4、2枚提出下さい。

dai (5) 楽々IT塾 矢崎会員

9月24日に顔合わせを行いました。35名の希望者が有りました。パソコンは11台有ります。

今後、第1・第3月曜日 午前・初級者、午後・上級者ですが午前でも、午後でも参加結構です。

(6) 歴史の会 澤渡委員

第8回増田会員の講師で「八王子の狛犬」と題して行いました。参加者は27名でした。次回9回は11月27日。テーマは「八ヶ岳の麓で縄文のビーナスに会おう」。諏訪大社等を見て晩秋の甲斐路を堪能して参ります。先着25名

(6) 廣瀬会員より11月10日(土)13:30より、いちようホールにての「子どもからの人権メッセージ発表会」への参加依頼がありました。

7. 卓話

「自動車産業のあらまし」 (本文の後に掲載)

8. プロバスソング斉唱

9. 閉会挨拶 矢島副会長

先日写真同好会で巾着田の雑木林に広がる彼岸花を撮影してきました。12月の例会では素晴らしい作品が展示できることと思います。今月もスムーズな例会の進行にご協力頂きまして有難うございました。これにて閉会とさせていただきます。

(例会記録 戸田弘文 撮影 市川昌平)

卓話

「自動車産業のあらまし」



渋谷会員

私は40年間余りを自動車関連企業に携わって来ましたので、自動車産業のあらましについて本日はお話したいと思っています。

お手元の資料はやゝ古い2005年のデータでありいただけると 생각합니다。また資料は日本自動車工業会の「日本の自動車産業」からのものが主であります。

自動車産業の歴史につきましては、長くなりますので今回は省略いたします。

自動車産業は日本ばかりでなくどの国でも戦略的基幹産業となっています。日本に於きまして自動車関連産業の就業人口は全産業の1割弱。また資材・部品メーカー、金融・保険など広い分野にわたっています。

日本の自動車の生産体制は特殊で、内製率は25%ほどで75%ほどは部品産業など外部から調達しています。アメリカなどでは、内製率は80%を超え、パソコンやラジオなど一部の電子機器を外部から調達するに留まっています。ヨーロッパは内製と外部調達の比率は50%50%ほどです。日本の自動車メーカーはそのような状況のため、部品確保のため部品メーカーの囲い込みが行われています。

生産台数においては、ほぼ毎年1100万台。ピークは1990年1349万台を記録しています。そのうち50%は輸出をしています。外注比率75%と言う関係でメーカーが単独で現地生産をすることは難しいのでどうしても輸出と言うことになります。当然貿易摩擦が起きます。

当時デトロイトのスーパーで下着などの買い物をしたとき、レジのオバチャンが「お前は日本人か。日本人の買い物の計算なんかやってくれない。他のレジに行ってくれ」といわれ、「どうして」と聞くと、「私の兄さんが自動車の工場で失業した」と言われたこともあり。現地では日本車をハンマーで叩き壊すようなこともあり。1985～6年には日本メーカーが自主規制を致しました。また、1985年9月竹下蔵相の時七カ国蔵相会議で為替レートが変動レートになり、1ドル260～270円した円が88年には120円台に、更に100円台に、95年4月には瞬間ですが79.97円にまで高騰いたしました。当時1万ドルカーといわれ240万円位した自動車が160万円、120万円、半分以上になってしまい大打撃を受けました。みんな大変苦労して合理化し110円で造る体制を作り上げました。

これから2・3年後にはドルは暴落することでしょう。円高ドル安は必至ではないでしょうか。また、中国の元は高くなっていくと思います。現在私どもはアメリカ・カナダ・メキシコの北米エリアで12～3プラント、中国に7～8ヶ所、ヨーロッパに4ヶ所ほどのプラントを建設しています。

アメリカでは車がないと生活できません。免許取得も割りと簡単です。試験は○×式で、○○××…と答を暗記して受けて、失敗すると「もう一回やりますか」とおおかです。実技も試験場に自分の車で乗りつけ「右へ曲がって、つぎ左へ曲がって。ハイスピードを落として……。まあ良いでしょう。合格。」と言う具合です。各州自動車の保有台数が経済のバロメーターです。人の移動、荷物の移動などすべて自動車の台数で決まります。

これからの課題としましては、石油価格の高騰と環境に配慮することから低燃費の車を如何にして開発するか、低排出ガスの車を作るか、ということと、

車の安全性を高めることです。しかし、安全のための装備は一方で資源の無駄使いに繋がります。先ず交通安全意識を高めることが先決ではないでしょうか。国の政策も、100km出せる道路が無いのに100kmのスピードを出せる車を許可しているのも矛盾した政策です。

投稿 わたしの趣味

有泉 裕子



大野様から多彩な趣味の持ち主である旨紹介されました。確かに現役の頃からストレス解消と気分転換、それに子育て時代が終わり、仕事のみでなくほかに何かをもとめ、友人にも誘われまた自分の好きなことをと思い、コーラス、習字、登山などを始めました。

「趣味」という言葉を辞典で調べてみたら、

- (1) 美学的観点より言えば美的対象を鑑賞し、批判する能力をいい、このときには英語テスト taste、ドイツ語ゲシュマック Geschmack の語があてられる。良い趣味というのはこの意味であり、物ごとの美醜を適切に鑑別する能力を称している。
- (2) 心理学的には人々が感興を催し興味をもってあることにあたっているような状態、またはそのときの対象を指し、英語のホビー hobby にあたる。

ある点では子どもの遊びに似ているが、子どもでは遊びが生活のすべてであるのに対し、成人の趣味はその人の本来の仕事とは別の、副次的なものであり、生計のため、あるいは実利実益を目的にしないで慰みや生活の楽しみのためにするものである。それゆえにいかなる趣味を選ぶかには広い個人差が見られ、その趣味のいかんはその人の人柄をうかがう手がかりになる。というように書いてありました。なるほど、改めて言葉の意味を調べてみて、自分はそれに添って無意識のうちに遊び楽しんでいたのだなと改めて思いました。

特に登山は自分の足だけが頼り、一步一步、歩を進めて千～3千mの山を目指すのですから楽ではありません。登る途中でとてもしんどくなったときなどなぜこんなに辛い苦しい思いをして…と思うことはたびたびでした。でも頂上を極めたときの感慨はひとしおで、汗で体の中の毒素をみなはきだし、

すがすがしい気持ちになり、また次の山行が楽しみになります。お花の時期など高山の厳しい冬に耐えて咲く可憐な花々に出会えるのも最高の楽しみです。

この3月に定年退職してからはさらにアメリカンスクエアダンス、陶芸、デジタルカメラなど初めてのことに挑戦しています。

頭を回転し、友達を多く作り、四捨五入すると古希になる年齢になった今、すこしでも元気で美しく老いることが出来るようにと思い努力していこうと思っています。

投 稿

37年振りのボルネオ

高瀬 謙輔

「近年、サバ州政府は観光事業に力を入れており、各国の航空会社に対してサバへの乗り入れを歓迎する状況にあるので、いずれ近い将来に日本の航空会社や旅行会社等が“神秘の国サバへの旅”と題して日本人旅行者を斡旋する日がくるように思われる。」

この冒頭の文章は昭和47年に当時の国際文化協会の機関誌「てれふれんど」に載った私のサバ駐在記の一節である。

私は昭和44年の春から約2年間マレーシア国サバ州に駐在した。サバ州と云っても世界地図のどこに位置するか知っている人は少なく、むしろボルネオと言った方が分かり易い地域であろう。

一般的にはボルネオは未開のジャングルが密生していて、日本人にとってはとても住みづらいと考えられていたが、海岸地帯にある主要都市では自然を生かしつつもビルやホテル・商店などが立つ立派な町並みがあった。街路樹の火えん樹やブーゲンビリアが咲き誇る時期は見事で、心落ち着くものであった。熱帯性気候のため、常夏の国ではあるものの日中の最高気温はせいぜい33～34℃位までで、朝夕は20℃近くまで下がる日も多く、東京の夏よりも湿度が少なく、しのぎ易かった。たった2年間という短い駐在期間であったが、この地をいつかは再訪したいという気持ちは年を重ねるにつれ強くなり、退職を機に37年振りにボルネオを訪問した。今回訪問したところはサバ州の州都であるコタキナバル市と現地事務所があったタワオ市であった。国際空港を持つ表玄関のコタキナバル市には欧米のリゾート地顔負けの立派な南国風のホテルやマリンスポーツ、ゴルフ、テニス等が楽しめる大規模なリゾート地が建設され、一方のタワオ市も人口が増え開発が

進んでいたが、地方都市だけにまだまだ昔日の面影を色濃く残していた。その中で我が目を疑ったほど懐かしく且つ嬉しく感じたことは、我々が事務所として使っていたビルが残っているばかりか、その外壁に印字されていた会社名である Sabah Teiseki Oil Co., の Oil Co., の文字跡が、かすかに読みとれたことであった。当時は原油・天然ガスの噴出を期待して本格的な海洋試掘作業が実施された時期でもあり、活気溢れる日々の連続であった。事務所前に立っていた私の足は自然と仕事で日課のごとく出かけていた移民局ビル、通信局、港湾事務所などに向かっていた。私は一気に駐在時代にタイムスリップした思いであった。そしてその思いを最も盛り上げてくれたのが当時一緒に働いていた現地従業員のローランド・ホー氏（当時18才）に再会できたことであった。



彼は転職を重ねた中で35歳過ぎに起業して、大成功を収め、サバ州政府より州の発展に貢献した功労者

に与えられるダトー（Datuk）の称号を得ていた。再会した日の夜はお互いのこれまでの人生の歩みや家族や子供達のこと、当時の会社仲間の消息などで話が尽きることなく、朝方まで話し合っていた。忙しい身でありながらも、私の滞在中は付きっきりで案内役を買って出てくれた。お蔭で37年振りにボルネオの思い出の地をくまなく見て回り、期待以上の充実した12日間を過ごすことができ、お礼の言葉がないほどの感謝と感激で一杯であった。

今回の旅行で気づいたことであるが、成田からコタキナバルへの直行便が運航され、飛行時間も5時間半ほどで、ボルネオは当時と比べれば遥かに近い国になっていた。次回は一人旅でなく家内と共にこの懐かしのボルネオを再度訪問できればと今から楽しみにしているところである。

編集後記

芸術の秋、スポーツの秋。プロバスメンバーも野外研修、いちよう祭り、人権メッセージ発表会、コンサート etc. 各方面で活躍の季節です。

皆さんの活動の予定など、皆様の掲示板として利用していただければ幸いです。

東京八王子プロバスクラブ
創立1995.10.18

ハロバスだより

第145号

編集・発行・情報委員会
発行日2007.12.13

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2007.7～2008.6 テーマ『ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を』

第145回例会（移動例会）

日時：平成19年11月8日（木）午前8時発

（八王子南口 多摩信前 大型バス）

場所：相撲博物館 江戸東京博物館 末広亭

出席者：会員 47名

1. 荒 研修委員長より本日のスケジュール説明、挨拶の後、浅川例会委員長の司会で進められた。

2. 宮崎会長挨拶

皆さんおはよう御座います。本日は朝早くから野外研修に参加頂きまして誠に有難う御座います。本年度の野外研修は荒委員長を中心に研修委員会の皆さんが色々と考えて下さり、今日一日私達をお江戸へと連れて行って下さるとの事があります。江戸博物館は楽しいですね。建物に入り、一瞬にして江戸の町に変わる、その瞬間ノスタルジアを感じることが出来ます。何回来ても飽きることがありません。江戸の町には八さん、熊さんが居て隣から話し掛けて来るような雰囲気です。

午後は寄席に行きます。江戸小唄があり、江戸博物館の延長が出来ると存じます。大いにその楽しさが期待できると思います。去年の武相荘と云い、今年の江戸博物館と云い、年々野外研修を企画、実施して下さる研修委員会の皆さん方に感謝致します。

11月に入り、行事が重なります。いちょう祭り、全日本プロバス関東地区ブロック会議等があります。担当する皆様や応援される皆様方にはご多忙のところ大変でしょうが宜しくお願い申し上げます。一人でも多くの参加を期待いたします。

3. 幹事報告（山崎幹事）

(1) 会員動向

前月と変わらず66名 休会2名 実働64名

本日の参加者 47名

(2) 対外活動の報告

① 11月1日の理事会に、立川、下山両会員が出席、全日本プロバス協議会の世話人会の報告を行った。（10月21日、京都）全国7ブロック13クラブから、38名が出席。

*来年の第3回定期総会は、来秋京都開催が決まりました。

*各ブロック代表より、ブロック連携の動き等について報告があり、関東は、立川副会長より、11月29日の関東ブロック懇親会の開催を報告。

*13クラブ代表より日頃の活動状況、特徴的活動、悩み等の報告あり。（当クラブは下山会員が報告）

*全日本プロバス協議会に加盟クラブは、全国95クラブ中54クラブ。（立川会員より報告あり）

② 関東ブロック懇親会

11月29日、11時～14時まで、TKP 御茶の水ビジネスセンターにて関東ブロック懇親会が開催されます。会費4千円は自己負担、交通費は支給します。未だ若干の余裕がありますので参加希望者は、幹事まで申し込んで下さい。

③ いちょう祭りのお手伝いの件

阿部地域奉仕委員長より、協力者日程表が配布されていると思いますが、ご協力宜しくお願い致します。

*本日、車内で恒例の通行手形を販売いたします。例年予定数量を完売していますので本年も宜しく。

*池田会員の展示会の件

11月23日～12月2日 11:30～18:00

西国立 無門庵ギャラリー「山中秀書氏との二人展」是非いらして下さい。

尚、会員の活動状況は、プロバスだよりに随時掲載しますので、幹事迄連絡願います。

4. 委員会報告ほか

(1) 例会委員会 浅川委員長

次回に新年会費を納入して下さい。会場等については12月の例会にお話致します。

(2) 地域奉仕委員会 阿部委員長

17、18日に行われる「いちよう祭り」に、ご協力をお願い致します。なお、いちよう祭り



当日、お手伝いの昼食は理事会で辞退しましたので、よろしくお願い致します。

車内で手形（600円）を販売致しますのでよろしく。

学習サロンの進行については、各講師に、レジュメをお願いしております。野外サロンについては今、煮つめているところです。

(3) 会員委員会 杉山委員長

第3回会員委員会を22日に行います。

(4) 情報委員会

なし

5. 全国プロバスの報告 立川会員

おはようございます。10月21日ブロック代表世話人会がありました。今回の大きな目的は来年の総会を何処にするかと云う事でした。北海道の旭川という声もありましたが、日本の中央である京都に決まりました。どなたも参加して頂けますので、参加して下さい。人事の変更もありました。

関東ブロックの交流会が11月29日に御茶の水、元日立本社の跡で行われます。

皆さんの交流の場ですので、是非ご参加下さい。来年は9月14日からニュージーランドを予定しています。

6. 同好会報告

(1) 歴史の会 澤渡委員

第9回歴史の会のテーマ「晩秋の八ヶ岳山麓

縄文のビーナスに会おう」

日時 11月27日（火）

集合 7:45 JR八王子駅南口多摩信用金庫前

見学先 諏訪大社 尖石縄文考古館 長円寺 井戸尻考古館 風林火山館

懇親会 おっこと亭 [新そばを肴に語ろう会]

会費 バス、見学科、昼食、懇親会費、その他 合計7,000円（予定）

(2) 写真同好会 矢島副委員長

御岳溪谷撮影会 今年最後の撮影会を致します。

日時 11月22日（木）

集合 9:15 JR八王子駅 八高線ホーム

（八王子発9:26 拝島9:45 御岳着10:45）

懇親会 ままごと屋（溪谷に面し展望よし）

解散 PM 2:00 頃を予定（不明な点は幹事まで 下山 矢島）

(3) 茶会 中野委員

11月は11月13日（火）AM10:00～いつもどおり行います。

12月は12月22日（土）PM3:00～お酒を飲まれる方は 車不可

（欠席の場合は連絡を 阿部 中野）

(4) 囲碁 下山委員

来年の1月は1月11日（金）、1月18日（金）に変更となります。

(5) 八王子フィルハーモニー合唱団による

One Coin concert 立川会員

日時 12月1日（土） 500円

第1回 開場 12:30 開演 13:00～

第2回 開場 15:00 開演 15:30～

会場 村内ファニチャーアクセス多目的ホール
アットホームな楽しいコンサートですので是非お出かけ下さい

7. 閉会挨拶 矢島副会長

スムーズに終会となりました。今日は研修の内容が盛沢山あります。伝統のある相撲も新しい時代をどう克服するか国技の立ち直りを期待しています。

今日は本当に有難う御座いまし



た。

野 外 研 修

今回の野外研修は、「江戸文化を楽しむ」とのテーマで、18世紀前半100万人都市になっていたという江戸の全貌をイメージし、庶民の暮らしと楽しみを探るため、両国の「相撲博物館」と「江戸東京博物館」、新宿の寄席「末広亭」の3ヶ所を訪ねた。

「相撲博物館」



国技館の1階にあり、古い時代の番付、化粧回しなど相撲に関する資料、また歴代横綱の錦絵や写真が展示されていた。

「江戸東京博物館」



国技館から徒歩数分の距離に隣接している。到着後、動く歩道で3階へ。集合写真撮影場所で全員の記念撮影。それから50人乗りエレベーターで6階へ移動、入館。我々一行は5班に分かれ、それぞれの班にガイドボランティアが付いて見学がスタート。



入館すると目前に、実物大(長さは二分の一)の日本橋。圧巻。



渡ると「江戸ゾーン」で、江戸城と町割り、武家屋敷、町人地、体験「大名駕籠」などが展開。エスカレーターで5階へ下りると、次の「江戸ゾーン」。ここには芝居小屋の「中村座」、町の暮らしを再現した「棟割長屋」、「盛り場」、商業の「三井越後屋」。更に「東京ゾーン」へ歩を進めると、「鹿鳴館」「新聞社」「銀座煉瓦街」「ニコライ堂」「ヤミ市」などが再現されていた。

昼食は1階にある「モダン亭」にて特製ハンバーグやポークカレーなどを賞味した。

「末広亭」

バスで新宿へ移動、「末広亭」に入場。中入り直前



の漫才と桂米丸の落語から聞くことができた。中入り後、落語5話、漫才2話、紙切りなどの演目を16:30の終演まで堪能。

その後、首都高・中央道経由で予定の時刻に八王子に無事帰着、充実した野外研修の一日を終えた。

(例会・野外記録 阿部(幸)・矢崎 撮影 武田・市川・荒の諸氏)

掲示板 八王子学園都市いちょう塾公開講座

1/26(土) 13:30~15:00

ミュージカルを楽しもうーその歴史と名曲の数々ー

平原俊彦氏

2/16(土) 13:30~15:00

地域学の視点で見た八王子の古代

大野聖二氏

場所: 学園都市センター

(無料・先着順)

投稿

忘れられていくものたち

増田 由明

近年、我々の祖先が造立した石仏が、都市化の波そして風化が進み残念ながら少しずつ姿を消していく傾向にある。

石仏の世界は、入り込んでみるとかなり奥が深い。平安時代から石仏が彫られ始め、江戸時代には庶民の中で石仏造立が大流行した。八王子市内を散策してみると野仏を見かけるが、その多くは花が手向けられている。これは地域の人たちの生活の中に溶け込み、しっかりと石仏たちは現代に呼吸をしているとも言える。

私は、若い時から全国の石仏を写真に収めてきたが、単に石仏の表情を楽しみ、そして風景の一部としてしか石仏を見てこなかったことに最近気がついた。

仏像は寺院やお堂の中に安置され、そこがお祈りをする場所になっている。一方、石仏は墓地の中にもあるが、多くは街道の路傍にあたりして、村の入り口で疫病が村に入りこまないように祀られていたりもする。その種類も多く、昔の人が造立した当時の篤い信仰心や宗教的な美を感じられるもの、民俗学的にも貴重なもの、さらには道祖神等のように当時の交通史的にも貴重なものがある。それらの視点で石仏たちを研究してみると、相当奥が深いということが分かってきた。

最近はお狛犬と庚申塔を特に興味を持って訪ね歩いている。

狛犬については落語家の三遊亭円丈師匠の「THE 狛犬！コレクション」等出版物も多く出ている。神社の神殿の前や鳥居の近くに狛犬があり、江戸時代に造立されたものは、いずれも個性的で石工の個性が色濃く出ている。かつて勤務した北区、千代田区にも厳しい表情のものや、見ていて心が安らぐような優しい表情のものもあり、興味を持って眺めて

みると結構楽しめる。

八王子では特に、宇津貫町の熊野神社にいる明和2年造立のお狛犬は、体長40センチ、丸い顔、筒状の体が特色で大変個性的である。このタイプの狛犬は全国的にも殆ど見かけないのではと思う。他にも上恩方町の熊野神社のお狛犬も涎掛けのようなものをつけ、獠猛な表情とむき出した歯の細工は見事である。

一方、庚申塔は、中国の道教が日本の神道、仏教、修験道等と融合し、民間信仰である「庚申信仰」として庶民の間に江戸時代に大流行した結果、造立されたものである。これも全国各地に数多く残っている。

青梅教育委員会が昭和49年に発行した「青梅市の石仏」によると、八王子市内の庚申石仏は多摩地区では一番多く、260基と記載されている。

庚申信仰とは、人間の体の中に「三尸(サンシ)」という三匹の虫がいて、庚申の日人間が寝ている間に体を抜け出して、天帝に人間の罪業を告げ口に行く。

天帝は罪の度合いでその人間の寿命を縮めるので、それを防ぐために人間は、朝まで徹夜で講の仲間と飲んだり、話をしたりして翌朝に鶏が鳴くまで起きている。その結果、三尸は告げ口にいけないので、人間は長寿を得られるという信仰である。

庚申塔は、我々の祖先が講を作り、近所の仲間達と「庚申待」を懇親の場として楽しんだ歴史の証人でもある。しかし現在では「庚申塔」は何のために造立されたのか、そのことを知っている人は少なくなっている。この石仏の主導である「青面金剛」は個性豊かで、八王子にも有形文化財として指定してもよい素晴らしい庚申塔が残っている。また、庚申塔には三猿が彫られている。八王子の恩方地区に残っている庚申塔の三匹の猿（見ざる・言わざる・聞かざる）がいろんな姿態を見せこれが面白い。これからも散策をするついでに石仏鑑賞を楽しむ予定である。

編集後記：今号は野外研修など豊富な内容を4頁に収めました。

増田さんの八王子の寺・神社のお狛犬「各論」は別の機会に掲載させていただきます。お楽しみに！